

# 琉球大学学術リポジトリ

## 調査回答書： 南洋庁

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄, 南洋, 人口, 調査, 医療・衛生, 南洋庁 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: 矢内原, 忠雄 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/37960">http://hdl.handle.net/20.500.12000/37960</a>



# 矢内原忠雄文庫

史料名	矢内原作成「南洋群島島民人口状態に関する質問書」への回答 南洋庁
封筒番号	132
原文所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成 17 年 11 月 10 日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

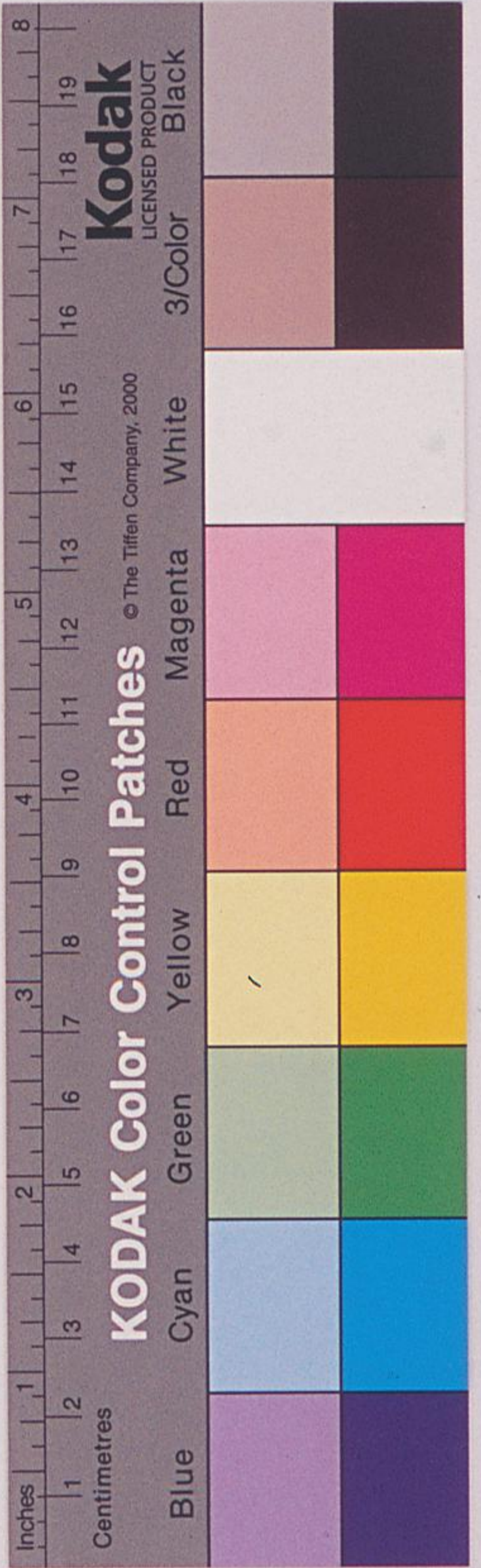


# 矢内原忠雄文庫

封筒番号：132

史料名	矢内原作成「南洋群島島民人口状態に関する質問書」への回答 南洋庁
資料形態	矢内原送付の質問書
枚数	6
页数	6
縦 (cm)	
横 (cm)	
厚さ (cm)	
書誌的事項	南洋 回答者については「南洋庁」とあるのみ  今泉分類記号：N





南洋群島島民の出生率低下事、死亡率に乳児死亡率高き事の原因に關し次の各項に御解答下さい

南洋廳

一 住宅

1. 床ハ土間ナリヤ
2. ソ、窓、床、濕ル事ナキヤ
3. 大雨ノ際家内ニ水ノ溢レル事ナキヤ
4. 使用水ヲ床ノ上ニコボス事ナキヤ
5. 風雨ヲ防グニ充分ナリヤ
6. 極端ナル密閉(窓、クイ等)ヲ認ラレルカ
7. 室内ニテ焚火スル習慣アリヤ(蚊遣、炊事等)
8. 病毒若クハソノ傳播ノ原因タル害虫類(蠅、蚊、南、宗虫、ダニ等)ヲ養フ事ナキヤ
9. 壁、床ニ虚構ハズ喰フカケル習慣アリヤ
10. 家人ノ雜居状態、一戸ハ概ネ一室ナリヤ、如何ナル程度ノ廣サナリヤ、一戸ニ何人住居スルヤ
11. 一戸ニ數家族雜居スル事アリヤ
12. 男ト女ト住居ヲ區別スルコトアリヤ(掃屋等)
13. 犬、豚、鶏、等ノ糞ヲ掃除スル事アリヤ
14. 住家ノ建て方ガ密集ニスギル事ナキヤ
15. 大小便ノ通帯如何ナル場所ヲ行ハルカ(海邊、小舎内、又ハ附近、通路等)
16. 島民ノ共同便所一男女子供全テ共同トシテ用フ所アリヤ
17. 共同便所ニツイテノ官ノ命令及ヒ其利用程度如何ナル方策ヲ適當トスルカ
18. 叙上ノ住宅、便所等ニ存スル缺陷ノ改良ニツキ如何ナル方策ヲ適當トスルカ
19. 改善ノ原動力トシテ認ムベキモノハ何カ(官ノ施設、島民ノ模倣、教育及宗教ノ效果等)
20. 以上ノ外住宅ニ付キ衛生上注意スベキ事

二 衣服

1. 官廳、學校、醫院、宗教家等ニ於テ衣服着用ヲ獎勵スルカ
2. 島民ノ衣服着用ハ次ノ如キ善ヲ齎ス事ガ認ムラレカ
3. 皮膚ヲ柔弱ニスル事
4. 風邪、肺結核、ノ原因トナル事

一 住宅

1. 床ハ土間ナリヤ
2. ソ、窓、床、濕ル事ナキヤ
3. 大雨ノ際家内ニ水ノ溢レル事ナキヤ
4. 使用水ヲ床ノ上ニコボス事ナキヤ
5. 風雨ヲ防グニ充分ナリヤ
6. 極端ナル密閉(窓、クイ等)ヲ認ラレルカ
7. 室内ニテ焚火スル習慣アリヤ(蚊遣、炊事等)
8. 病毒若クハソノ傳播ノ原因タル害虫類(蠅、蚊、南、宗虫、ダニ等)ヲ養フ事ナキヤ
9. 壁、床ニ虚構ハズ喰フカケル習慣アリヤ
10. 家人ノ雜居状態、一戸ハ概ネ一室ナリヤ、如何ナル程度ノ廣サナリヤ、一戸ニ何人住居スルヤ
11. 一戸ニ數家族雜居スル事アリヤ
12. 男ト女ト住居ヲ區別スルコトアリヤ(掃屋等)
13. 犬、豚、鶏、等ノ糞ヲ掃除スル事アリヤ
14. 住家ノ建て方ガ密集ニスギル事ナキヤ
15. 大小便ノ通帯如何ナル場所ヲ行ハルカ(海邊、小舎内、又ハ附近、通路等)
16. 島民ノ共同便所一男女子供全テ共同トシテ用フ所アリヤ
17. 共同便所ニツイテノ官ノ命令及ヒ其利用程度如何ナル方策ヲ適當トスルカ
18. 叙上ノ住宅、便所等ニ存スル缺陷ノ改良ニツキ如何ナル方策ヲ適當トスルカ
19. 改善ノ原動力トシテ認ムベキモノハ何カ(官ノ施設、島民ノ模倣、教育及宗教ノ效果等)
20. 以上ノ外住宅ニ付キ衛生上注意スベキ事

二 衣服

1. 官廳、學校、醫院、宗教家等ニ於テ衣服着用ヲ獎勵スルカ
2. 島民ノ衣服着用ハ次ノ如キ善ヲ齎ス事ガ認ムラレカ
3. 皮膚ヲ柔弱ニスル事
4. 風邪、肺結核、ノ原因トナル事



- ハ 塵埃、病氣、運搬者タル事
- 3. 商人、宣教師カドガ古着類ヲ輸入セシ事アリヤ
- 4. 輸入セシタ衣服ガ天然痘、肺結核、皮膚病等ノ病氣ヲ媒介傳播セシ事ナキヤ
- 5. 衣類着用ノ習慣ガ衛生上好結果ヲ齎スト認めラレル莫如何
- 6. 農民、労働者ガ労働ニ従事スル際身体(特に下肢脚)保護ノタメニ衣類ヲ特別ニ必要トスル事アリヤ

三、食物

A. 食物

- 1. 食物ノ種類及ビ其調理法ガ保健、生殖、育兒ニ対スル影響上單調、偏頗ナル事ナキヤ
- 2. 食事時間ノ規則的ナリヤ(日何食ナルヤ)
- 3. 乳兒ノ保育ハ母乳ニ依ルカ、牛乳、豆乳等ニヨル習慣アリヤ
- 4. 不作、飢饉ガ營養、罹病率、死亡率等ニ対シテ影響スル事ヲ認めラレルカ
- 5. 不作時ニ備フル爲メ收穫時ノ習慣アリヤ
- 6. チヤモロ族ニ脚氣ガ認めラレルカ

B. アルコール

- 1. 島民ハ如何ナルアルコール飲料ヲ用フルカ在來酒ト輸入酒ト何レヲ好ミ、何レヲ多ク飲用スルカ
- 2. 輸入酒ノ衛生上特ニ不適當ナル成分ヲ有スル事ナキカ
- 3. アルコールノ飲用ガ島民ニ対シテ、如キ結果ヲ齎ス事ナキヤ
  - イ. 両親ノ体質ヲ弱メ、引イテ子供ノ數、及ヒソノ體質ニ害ヲ與ヘル事
  - ロ. 急性並ビニ慢性ノ傳染病ニ対スル抵抗力ヲ弱メル事
  - ハ. 殊ニ肺結核ニ引イテハソレニ対スル抵抗力ヲ弱メ、傳播ヲ促進シ、又病人ノ病勢ヲ昂進スル事
- 4. 島民ノアルコール含有飲料ノ製造ガ食糧ノ損失引イテハ飢餓ヲ齎ス如キ事ナキヤ

ハ 酒類ニシテハトナキニナレトモ

3. 商人ニシテ例ヲ見

4. ナレ

5. 衛生上ヨリ補益ニシテハトナシ

6. ナレ

三、食物

A. 食物

- 1. 不明
- 2. 一般ニ不規則ナリ
- 3. 母乳ニ依ル
- 4. 認めザルコトナシ

5. ナレ

6. 特ニチヤモロ族ニ好酒を嗜ムコトナシ

B. アルコール

- 1. 酒類ヲ飲用スルニトハ其全ヲ以テ禁セザル
- 2. ナレ
- 3. 本邦人ニシテ節制力ナキ島民ニアルコトノ飲用ヲ放任スルコトナキハ、勿論ニ記載ノ如キ悪害アルノ上、アルコトナシ人運上及通商上ヨリ酒類ノ飲用ハ絕對ニ禁止スルコトナシ
- 4. 酒類ノ製造ヲモ禁セザル



3. 四、結婚、性交、婦人、子供ノ地位

1. 結婚年齢ハ通常男女何歳位ナリヤ 男女両性ノ未成熟ノ子供ガ性交ノ秘密ヲ食ル事ナキヤ
2. 成年男子ガ性交目的ニ未成熟ノ少女ヲ濫用スル事ナキヤ
3. 未成熟ノ妊娠能力ナキ少女ガ成年男子特ニ生殖能力ナキ老人(酋長等有力者)ト早期ノ結婚ヲナスル事ナキヤ
4. (夫一婦制ハ嚴格ナリヤ、一夫多妻若クハ多夫一妻ガ認めラレルカ)
5. 成年男子又ハ女子ガ配偶者ヲ得ルニ困難ナル如キ事情アリヤ(社會制度上、男女人口數ノ比例上等)
6. 島民相互間ニ賣淫ノ習慣ガ認めラレルカ
7. 島民ト非島民間ニ性的關係ノ結バル事多キヤ(例ニ邦ガ島民婦女ニ按ヌル等)
8. 島民ハ性的慾望特ニ強キ事ガ認めラレルカ(肉慾的放縱)
9. 亂交ガ認めラレルカ
10. 墮胎ノ習慣アリヤ、アリトセバソノ原因如何(性的リ經濟的リ)
11. 嬰兒殺害ノ習慣アリヤ、アリトセバソノ原因如何(永久的不妊有カ多ク認めラレルカ、然リトセバソノ原因如何)
12. 公然又ハ秘密ノ賣淫ノ習慣ガ認めラレルカ
13. 出産ノ際ニ於ケル妊婦及母体ノ保護上特ニ如何ナル缺陷アリヤ
14. 乳兒並ニ兒童ノ保育上特ニ如何ナル缺陷アリヤ(定期間(長期間)ノ性交ヲ母ニ禁止スル習慣ナキヤ、アリトセバソノ原因如何)
15. 村・組合ナドカ一人モ子供ヲ持タヌトモテ義務ヲ相互的ニ負フ等ト云ル習慣アリシヤ
16. 一種族若クハ一族内ノ血族婚姻ノ習慣ガ認めラレルカ
17. 文身ノ習慣ハ死亡率ニ何カノ影響ガアルカ

四、結婚、性交、婦人、子供ノ地位

1. 早産ナリ早ヤハ十三歳位ヨリ習慣ヲ有スルヤ
- 未成熟ノ男女ニテ遊戲的ニ接觸スル親等ニテ別ニ要ナリトモ、ハヤ地方ヨリ
2. ナシ
3. ナシ
4. 一夫多妻(酋長等特許スルコトナキ)ニハアラザルニ集會誹散ハ却テハヤハ屋ニカラズ
5. ナシ
6. 住時ニ依テハ賣淫ノ慣習アリタルト傳ヘズ、現在ニ於テハナシ
7. ナシ
8. 認めラレル
9. 認めラレル、地方ニ依リテ認めラレル
10. 衛生知識欠乏
11. 衛生知識欠乏
12. 地方ニ依リテ、甚ク是國ハ迷信ニ依ルコト認めラレル
13. ナシ
14. ナシ
15. ナシ
16. ナシ
17. 不明



五、労働

- 1. 男子に比較的遊惰ニシテ女子ノ労働者比較的過重ナル如キ習慣ガ下ルカ
- 2. 耕作労働、家庭労働、運搬労働等ガ婦人休カヲ務ラシメル如キ事ハナキヤ
- 3. 島民労働者ノ出稼ガ行ワレルカ(特ニアングウルニ対シ)又行ハレルバソノ出稼ギ、期間ノ長サ如何
- 4. 島民出稼ガ、結果トシテ次ノ如キ現象ガ認めラレルカ
  - 1. 耕地ノ荒廢
  - 2. 家族生活ノ破壊
  - 3. 離婚 Polynesianノ増加
  - 4. 出生率ノ減少、児童死亡数ノ増大
  - 5. 賣淫、墮胎、梅毒ノ増加
  - 6. 性病、肺結核ノ蔓延
  - 7. 婦人、児童労働ノ増大
  - 8. 過激若クハ不慣レノ労働ニテ上ノ労働者ノ死亡数増カセシメトシヨキ

- 6. サイパンノ製糖業及アングウルノ鑛業事業ガ島民労働者ノ保健上ニ如何ナル影響ヲ及ボスカ
- カノ作用ヲ及ボスト認めラレルモノガ下ルカ

六、迷信

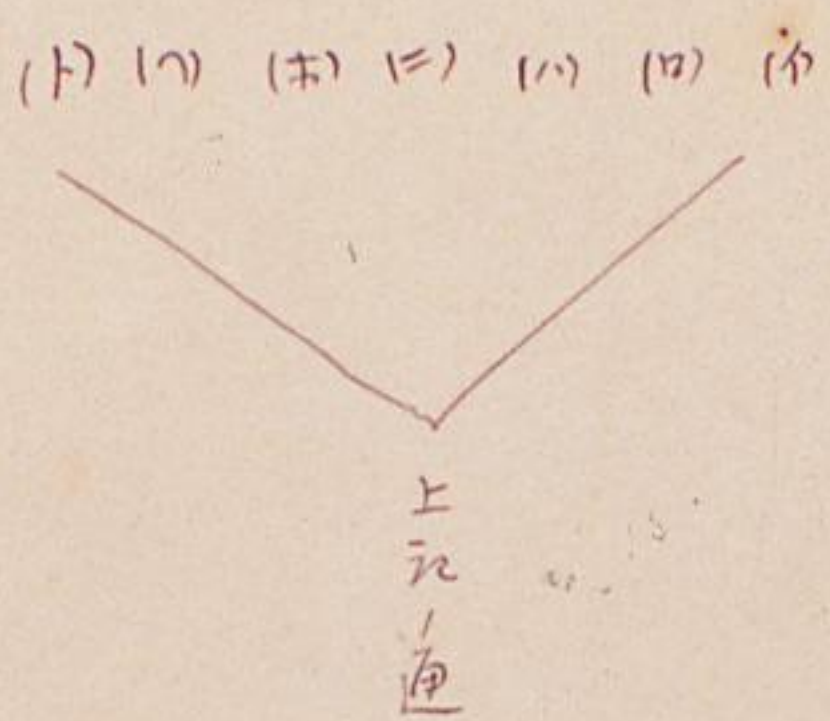
- 1. 性生活、夫婦生活ニ於ケル迷信的慣習、食物ニ関スル迷信的慣習ガ出生率、死亡率ニ何等カノ作用ヲ及ボスト認めラレルモノガ下ルカ

七、雑

- 1. 次ノ諸項ハ人口増加率ノ小ナルコトノ原因トシテ作用スルコトガ認めラレルカ
  - 1. 土地ノ狹隘、交通ノ不便等、經濟生活ノ基礎ガ小ニシテ多量ノ人口ヲ島内ニ支持シ難キコト
  - 2. 酋長ヲ中心トシテ舊氏族的社會制度ノ遺習
  - 3. 新文明トノ接觸ニヨル島民ノ精神的、物質的、生活ノ急變
- 2. 元島民ノ共有ニ属シタル狩獵地、放牧地、海岸地ガ評落民ノ私有地ニ變リタルコトアリヤ、又官有地トナサレシコトアリヤ

五、労働

- 1. 地方ニ依リテハ女子ノ労働力男子ヨリ過重ナル習慣アリ
- 2. 認めラレス
- 3. 行ハル、期間ハ三月乃至一年ナリ
- 4. 女ノ諸項ニ考慮ヲ及ベシトシテ耕ヒ居ルヲ以テ之カガニ新業ヲ認めス



- 5. ナン
- 6. 健康ヲ害スルコトナシ、寧ロ規則的、生活ヲ別列スルモノト認ム

六、迷信

1. ナリ

七、雑

- 1. ナン
- 2. ナン
- 3. ナン
- 4. ナン



3. 出生率・死亡率ニ影響スル病氣ハ主トシテ外來病ナリヤ、然ラトセバ其傳播ノ系統如何(スベイン時代、ドイツ時代又ハ日本時代)何トニ輸入セラレタカ、又ハ多クナリタカ、又何處ヨリ輸入セラレタカ)

イ、天然痘

ロ、寄生虫病

ハ、ノラムビシヤ

ニ、傳染性ノ腸ノ病氣

ホ、性病

ト、肺結核

チ、アルキール中毒

ケ、インフルエンザ

コ、癩病

4. 特ニサロニア、支那人苦カヨリ傳播セラレタカ、認ララル病氣アリヤ

5. 島民ノ體質(素質)ハ人口増殖上種族的ニ劣等ナルコトガ認ラレルカ(保護、指導、イテ今後人口増加率ノ高ムルコトガ出来ルカ否カ)

6. チヤモロトカカト人口増加率ノ相違スル原因如何

イ、體質上ノ差等カ

ロ、生活程度ノ差等カ

7. 萬米、スベイン、ドイツ、邦人等外來勢力ノ頻繁ニ更迭シタルコトガ島民ノ人口動態ニ何等カノ影響ヲ及ボシタカ

8. 日本統治後ハ獨逸領時代ニ比シテ衛生上如何ナル變化ガアツタカ、如何ナル病氣ガ増加シ、如何ナル病氣ガ減少シタルコト認ラレルカ、出生率、死亡率、乳兒死亡率ノ改善セラレタト認メラレルカ

9. 人口自然増加率ノ低キコトニ對シテハ出生率ノ低率ト死亡率ノ高率ト何レガヨリ重大ナル原因ナリト認メラレルカ

3. 手在統治行政府報(昭和十一年)其一九二五年乃至一九二五年ノ間

イ、ナシ

ロ、我統治前ヨリアリ

ハ、右左

ニ、アインバチ病我統治前ヨリ既ニ見ル

ホ、我統治ノ初期ニ見ル

ト、右左

チ、時ニ流行スルコトアリ

ケ、我統治ノ初ニ見ル

コ、ナシ

ク、不明

カ、不明

キ、不明

ク、不明

ケ、不明

コ、不明

ク、不明

ケ、不明

コ、不明

ク、不明

コ、不明

ク、不明

コ、不明

ク、不明

コ、不明

ク、不明

コ、不明

ク、不明

コ、不明

ク、不明

コ、不明

ク、不明

コ、不明

ク、不明

コ、不明

ク、不明

コ、不明

ク、不明

コ、不明

ク、不明

コ、不明

ク、不明

コ、不明

ク、不明

コ、不明

ク、不明

コ、不明

ク、不明



3. 出生率、死亡率ニ影響スル病氣ハ主トシテ外来病ナリヤ、然リトモ其傳播ノ系統如何(スペイン時代、ドイツ時代又ハ日本時代)何レニ輸入セラレタカ又ハ多クナク又何處カラ輸入セラレタカ)

イ、天然痘

ロ、寄生虫病

ハ、フラムベシヤ

ニ、傳染性ノ腸ノ病氣

ホ、性病

ヘ、肺結核

ト、アルキール中毒

チ、イノフルエンザ

リ、癩病

4. 特ニサヒアノ支那人苦カヨリ傳播セラレタ事トナシ  
認ラレル病氣アリヤ  
5. 島民ノ體質(素體)ハ人口増殖上種族的ニ劣等ナルコトガ認ラレルカ(保護指導ニヨリテ今後人口増加率ヲ高メユトガ出来ルカ否カ)

6. チヤモロトカナカト人口増加率ノ相違スル原因如何

イ、體質上ノ差等カ

ロ、生活程度ノ差等カ

7. 従来外國文明ノ感化ヲ受ケル程度ノ差等カ  
ハ、舊來スペイン、ドイツ、邦人等外来勢力ノ殲滅ニ更迭シタルコトガ島民ノ人口動態ニ何等カノ影響ヲ及ボシタカ

8. 日本統治後ハ従来領時代ニ比シテ衛生上如何ナル變化ガアツタカ、如何ナル病氣ガ増加シ、如何ナル病氣ガ減少シタルト認ラレルカ、出生率、死亡率、乳兒死亡率ノ改善セラレタト認メラレルカ

9. 人口自然増加率ノ低キコトニ對シテハ出生ノ低率ト死亡ノ高率ト何レガヨリ重大ナル原因ナリト認メラレルカ

認メラレズ